

2025 世界トライアスロン横浜大会の結果報告について

「2025 世界トライアスロン横浜大会」（主催：世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会）を令和 7 年 5 月 17 日（土）、18 日（日）の両日に開催しましたので結果を報告します。

1 競技結果

(1) 5 月 17 日（土）エリート（トップアスリート）大会

競技種目	出走者数	完走者数	完走率
エリート パラトライアスロン	66 (80) [男 46(45)/女 20(35)]	62 (78) [男 42(43)/20 女(35)]	93.9% (97.5%)
エリート	89 (120) [男 47(60)/女 42(60)]	82 (102) [男 42(47)/女 40(55)]	92.1% (85.0%)
参加国	34 の国及び地域		

() 内は 2024 年大会

(2) 5 月 18 日（日）エイジ（一般参加者）大会

競技種目	出走者数		完走者数		完走率
パラトライアスロン	13 (20)		9 (19)		69.2% (95.0%)
	男	女	男	女	
	13 (17)	0 (3)	9 (16)	0 (3)	
スタンダード	1,122 (1,051)		991 (972)		88.3% (92.5%)
	男	女	男	女	
	1,001 (924)	121 (127)	886 (855)	105 (117)	
スプリント	250 (229)		210 (202)		84.0% (88.2%)
	男	女	男	女	
	186 (181)	64 (48)	151 (156)	59 (46)	
スタンダードリレー	96[32 組] (113[40 組])		90[30 組] (107[38 組])		93.7% (95.0%)
スプリントリレー	24[8 組] (14[5 組])		24[8 組] (11[4 組])		100.0% (80.0%)
合 計	1,505 (1,427)		1,324 (1,311)		87.9% (91.9%)

※最年少出走者は 16 歳、最高齢は 85 歳

() 内は 2024 年大会

2 コース

山下公園をメイン会場に、赤レンガ倉庫、新港地区など横浜の観光名所を周回するコースです。

なお、エリート大会は、雨天による選手の安全面を考慮し、赤レンガ倉庫二棟間を通るバイクコースを一部変更しました。

スタンダードディスタンス (エリート、エイジ)	全体 51.5km (スイム 1.5km、バイク 40km、ラン 10km)
スプリントディスタンス (エリートパラ、エイジパラ、エイジ)	全体 25.75 km (スイム 0.75km、バイク 20km、ラン 5km)

3 観戦者数

約 270,000 人（17 日（土）約 68,000 人、18 日（日）約 202,000 人）（2024 年大会：490,000 人）

4 ボランティア

約 1,950 人（2024 年大会：約 1,290 人）※スポーツ推進委員含む

5 映像発信

(1) 5 月 17 日（土）エリート大会

ア NHK BS

エリート女子：10：05～／生放送

エリート男子：23：55～／録画放送

イ Triathlon LIVE 6：45～全競技終了 全競技をオンライン配信

(2) 5 月 18 日（日）エイジ大会

大会 WEB サイトでオンライン配信 7：15～競技終了

6 2025 年大会のトピック

(1) 15 回記念事業

ア エリート選手記者会見

エリート選手記者会見を初めて市庁舎アトリウムで開催しました。市民に公開し、世界大会の選手記者会見の雰囲気や、国内外の大会の注目選手たちを身近に感じられる機会となりました。

○日時 5月15日（木）14：00～15：25

○会場 市庁舎1階アトリウム

○プログラム

①エリートパラ記者会見

②フォトセッション

③エリート記者会見

④ベニュートーク（ハマトラアスリートアンバサダーの上田藍選手と15回大会特別ゲストのアレックス・ラミレス氏の2名をお招きし、大会やまちの魅力、今大会の見所などをお話いただきました。）



© Satoshi TAKASAKI/ Triathlon Japan

イ 15 回記念展示

市庁舎2階の展示スペースで記念展示を実施しました。

○期間 5月13日（火）～18日（日）

○場所 市庁舎2階展示スペース

○展示内容

①15回開催のあゆみ

②2025年大会の見所

③横浜大会の取組（子ども、SDGs、にぎわいづくり）

④トライアスロン競技紹介



ウ ポンツーンウォーク&稚魚放流

大会のスィムスタートで使用したポンツーン（スイム飛込用の浮桟橋）を歩くことで、子どもたちに大会を身近に感じてもらうとともに、稚魚放流を行うことにより、大会開催を契機にきれいになった山下公園前の海に親しんでいただきました。

○日時 5月18日（日）11：40～12：10

○場所 山下公園特設会場

○参加人数 39名



©Hajime Kaneda/ Yokohama Triathlon

その他、5月17日（土）には「ファミリーFUNラン」を予定していましたが、当日の悪天候により中止となりました。（参加予定人数：64組128名）

(2) こどもの参加・活躍の場

ア キッズプログラムの実施

未来を担う子どもたちが、大会の様々な場面で選手と触れ合い、交流しました。スポーツ・国際大会を通じて「する」「みる」「ささえる」ことの大切さ・楽しさを学べる貴重な機会となりました。

【キッズプログラム内容（活動人数）】

<5月17日（土）>

こどもスポーツ記者（9名）／レース応援隊（32名）／フィニッシュ応援隊（26名）／エスコートキッズ（8名）／ギフトプレゼンターキッズ（18名）

<5月18日（日）>

エイドキッズ（19名）



© Shugo TAKEMI/ Triathlon Japan Media

イ アスリートとの交流

横浜市立小学生が、トップアスリートの選手たちと交流できる場を設けました。

- 日時 5月15日（木）13：10～14：05
- 場所 本町小学校（中区）
- 参加者 日本パラトライアスロン代表選手 3名
本町小学校6年生 150名
- 内容 パラトライアスロン紹介、児童から選手への質問、応援メッセージ、記念撮影



(3) にぎわいの創出

ア ハマトラ FES（フェス）の開催

大会を通じたにぎわいづくりの取組として、「ハマトラ FES」を開催しました。今年は「パウ・パトロールとあそぼう！」（18日）や「ストライダーエンジョイカップ World Triathlon YOKOHAMA ステージ」等、多くの目玉コンテンツにより大きなにぎわいを創出することができました。

- 日時 5月17日（土）9：00～17：00 / 5月18日（日）9：00～16：30
- 場所 象の鼻パーク
- 来場者数 69,000人（17日：16,000人、18日：53,000人）

イ 大観覧車コスモクロック 21 特別演出

大観覧車コスモクロック 21 で大会開催をアピールしました。

- 期間 5月9日（金）～5月18日（日）10日間
- 特別演出
 - ・時間帯 19：00～21：15（毎時00分、15分、30分、45分）
 - ・時間 約1分間



ウ 横浜ナイトフラワーズ 2025 との連携

5月17日（土）19：00から5分間、大会参加者等に花火と夜の横浜を楽しんでいただきました。



©Hajime Kaneda/ Yokohama Triathlon

(4) 持続可能な大会運営

紙コップのリサイクルを新たに始めるとともに、2024年大会で試行したペットボトル水平リサイクルの本格実施等、大会での廃棄物削減に向けた取組を進めました。

また、大会参加者の会場までの移動等により排出される二酸化炭素をブルーカーボンオフセットする等、脱炭素をはじめとした環境配慮の取組を進めました。

- 紙コップリサイクル量：約30,000個（速報値）
- 水平リサイクル量：180kg／500ml 換算7,200本
- ブルーカーボンオフセット量：約40t（見込み）



©Hajime Kaneda/ Yokohama Triathlon